

国内外で注目を集める AKI INOMATA 日本の美術館で開催する初の個展

シグニフィカント・アザネス
AKI INOMATA : Significant Otherness

生きものと私が出会うとき

2019年9月14日(土) - 2020年1月13日(月) 十和田市現代美術館



《やどかりに「やど」をわたしてみる -White Chapel-》2014-2015 ※参考画像
 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY

生物の観察と調査を通して独創的な作品を作り出す美術家 AKI INOMATA の、日本の美術館では初となる個展が十和田市現代美術館で2019年9月14日(土) - 2020年1月13日(月)まで開催されます。やどかりに3Dプリンターで制作した各国の都市を模した殻を提供して住み替えてもらう作品《やどかりに「やど」をわたしてみる》など、他の生きものとの協業を通して人間や社会の本質をユーモアのある表現で問いかけます。

本展のタイトル「^{シグニフィカント・アザネス}Significant Otherness (重要な他者性)」は、科学史家ダナ・ハラウェイが提唱した地球上に生きる生物種との関係のあり方より着想を得たものです。展覧会には、やどかりの作品以外にも、タコとアンモナイトについて考察した作品や、震災の影響を受けたアサリを観察した作品、小さく刻んだ女性の衣服をミノムシにまどってもらった作品などが出品されます。いずれも人間とは違う生きものの視点で見た世界が表現されたもので、長い時の流れや、環境、そして生態系についての思索を、鑑賞者の胸のうちに引き起こします。

また本展には、かつて十和田を含む青森県南部地方で飼育されていた南部馬を題材にした新作も展示されます。

AKI INOMATA の作品群が包括的に見られる国内初の機会

生きたやどかりが展示室にやってくる！

十和田ゆかりの南部馬をテーマにした新作映像《ギャロップする南部馬》が登場

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 展示の内容とみどころ 】

1. AKI INOMATA の作品群が包括的に見られる国内初の機会

これまでKENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭やAsian Art Award 2018などで一定規模の展示をしてきたINOMATAですが、6つのプロジェクトを同時に見せる最大規模の展示となります。

2. 生きたやどかりが展示室にやってくる！

INOMATAの大切なコラポレーターである、生きたやどかりが、十和田市現代美術館で生体展示されます。INOMATAの自作の「やど」（3Dプリンターで制作した殻）に引っ越しする場面をライブで目撃できるかも！？通常、美術館内での生体展示は難しいため、今回の展覧会は貴重な機会となります。

※生体展示に当たっては研究者・研究機関に助言をいただきながら実施しています。

3. 十和田ゆかりの南部馬をテーマにした新作映像《ギャロップする南部馬》が登場

INOMATAはかつて十和田を含む南部地方で飼育されていた南部馬をテーマに、この十和田での展示に合わせて滞在制作を行いました。どうぞご期待ください。

【 作家メッセージ 】

人間以外の生きものと私たち人間との距離はひらきつつあると感じる。隅々までコンピュータ管理された情報化社会に住む現代の私たちは、人間以外の生きものを、都市空間から排除し、遠ざけてきたようにも思う。私の作品の多くは、“生きものとの共作”のプロセスによって成立している。私は、他種の生きものたちを、畏敬の念をもって、日々観察してきた。そして、自分とは異なる生きものたちを知り、コミュニケーションを取ろうと試みることで、生きものと人間の関係性を再考している。美術館では通常、作品保護の観点から害虫やカビの発生を防ぐために動植物の持ち込みが厳しく制限されている。しかし、十和田市現代美術館では生体展示をすることが可能だ。美術館周辺には、太古からの自然を感じられる奥入瀬溪流をはじめ、十和田湖、八甲田山など動植物の観察に適した場所も多い。美術館の中に生きものたちを招き入れ、日常的には意識されづらい異種との対話を試みたい。

【 AKI INOMATA 】

1983年生まれ。2008年東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。

生きものとの協働作業によって作品制作をおこなう。主な作品に、3Dプリンターを用いて都市をかたどったヤドカリの殻をつくり実際に引っ越しをさせる「やどかりに『やど』をわたしてみる」、飼犬の毛と作家自身の髪でケープを作ってお互いが着用する「犬の毛を私がまとい、私の髪を犬がまとう」など。

近年の展覧会に、「ミラノトリエンナーレ Broken Nature」（2019）、「タイビエンナーレ 2018」（クラビ市内、タイ、2018）、「Aki Inomata, Why Not Hand Over a “Shelter” to Hermit Crabs ?」（ナント美術館、フランス、2018）、「Coming of Age」（Sector 2337、シカゴ、2017）、「KENPOKU ART 2016 茨城県北芸術祭」（2016）、「ECO EXPANDED CITY」（WRO Art Center、ヴロツワフ、ポーランド、2016）、「エマーゲンシーズ！ 025 『Inter-Nature Communication』AKI INOMATA」（NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]、東京、2015）、「第4回 デジタル・ショック -リアル-のファクトリー」（アンスティチュ・フランセ東京、2015）、「アルスエレクトロニカ」（リンツ、2014）、などがある。2017年ACCの招聘でニューヨークに滞在。



撮影：新津保建秀

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 関連イベント 】 ※イベントの日時、内容は変更される場合があります。最新情報は随時Webサイトでご確認ください。

■ オープニングイベント 朗読ライブ「溶け合う、溶け出す」

展示室を舞台に、小説家の温又柔氏、音楽家の伊藤豊氏、本展覧会作家のAKI INOMATAの共演による朗読ライブをおこないます。

日 時：9月15日（日）14：00 - 14：30

会 場：十和田市現代美術館 企画展示室 / 料 金：無料 ※要企画展チケット

■ AKI INOMATA 作品集 刊行記念トーク&サイン会

展覧会の内容が収録される作品集の刊行を記念して、本展キュレーターである金澤韻とAKI INOMATAの対談をおこないます。イベント後は、サイン会を開催します。

日 時：10月26日（土）15：00 - 16：00

会 場：十和田市現代美術館 市民活動スペース

料 金：無料 ※要企画展チケット

AKI INOMATA 作品集

『AKI INOMATA:Significant Otherness 生きものと私が出会うとき』(仮タイトル)
株式会社美術出版社より2019年10月末刊行予定！

※十和田市現代美術館と書店、オンラインストア等で販売予定です

■ その他イベント

10月28日（月）19時より、銀座 蔦屋書店にてAKI INOMATAのトークイベントを開催予定。

詳細は、銀座 蔦屋書店の公式サイト (<http://store.tsite.jp/ginza/event/>) にてご確認ください。

【 開催概要 】

展覧会名： 「AKI INOMATA:Significant Otherness シグニフィカント・アザネス 生きものと私が出会うとき」

会 期： 2019年9月14日（土） - 2020年1月13日（月）

開館時間： 9:00 - 17:00（入場は閉館の30分前まで）

休 館 日： 月曜日（祝日の場合はその翌日）、12月28日（土）～1月1日（水）年末年始休館

会 場： 十和田市現代美術館

観 覧 料： 企画展+常設展セット券1200円。企画展の個別料金は一般800円。

団体（20名以上）100円引き。高校生以下無料。

主 催： 十和田市現代美術館

協 賛： 株式会社 島津製作所

特別協力： MAHO KUBOTA GALLERY

協 力： 浅虫水族館、TRNK exhibition preparation、松本茶舗

後 援： 東奥日報社、デーリー東北新聞社、青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、十和田市教育委員会

キュレーター： 金澤韻

アシスタントキュレーター： 見留さやか



十和田市現代美術館

2008年に東北初の現代美術館として開館。草間彌生、奈良美智、ロン・ミュエクなど世界の第一線で活躍するアーティスト33組の作品38点を常設展示。美術館の中だけでなく、周辺には公園のようなアート広場があり、こどもからおとなまで散策しながら魅力あるアートとのふれあいを楽しむことができる。

所在地：青森県十和田市西二番町10-9

TEL：0176-20-1127 FAX：0176-20-1138 web：www.towadaartcenter.com

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報：大谷（おおたに）

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com

【 広報用図版 】

ご希望画像の作品番号にチェックを入れ、申込みフォームの項目をご記入の上、本用紙を FAX または E-mail にてお送りください。

FAX : 0176-20-1138 / E-mail : press@towadaartcenter.com

TEL : 0176-20-1127 / 住所 : 034-0082 青森県十和田市西二番町 10-9

十和田市現代美術館 広報 大谷 行

<p>□図版 1</p>  <p>《やどかりに「やど」をわたしてみる -White Chapel-》2014-2015 ※参考画像 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>	<p>□図版 2</p>  <p>《やどかりに「やど」をわたしてみる -White Chapel-》2014-2015 ※参考画像 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>	<p>□図版 3</p>  <p>《girl, girl, girl . . .》2012 ※参考画像 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>
<p>□図版 4</p>  <p>《girl, girl, girl . . .》2012 ※参考画像 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>	<p>□図版 5</p>  <p>《進化への考察 #1: 菊石 (アンモナイト)》 2016-17 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>	<p>□図版 6</p>  <p>《LINES-貝の成長線を聴く ver.3.0》2018 (上) アサリ 2015.7.17 福島県相馬市松川浦 採取 (下) アサリ 2011.7.3 福島県相馬市松川浦 採取 Photo: Ken Kato ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>
<p>□図版 7</p>  <p>「Asian Art Award 2018 supported by Warehouse TERRADA」展示風景 2018 寺田倉庫、東京 Photo: Ken Kato ※参考画像 ©AKI INOMATA / Courtesy of MAHO KUBOTA GALLERY</p>	<p>□図版 8</p>  <p>AKI INOMATA 撮影 : 新津保建秀</p>	

媒体名

媒体ジャンル 新聞/雑誌/美術誌/テレビ/WEB/その他 ()

御社名

御担当者名

所在地 〒

電話

メールアドレス

【 画像ご使用に際して 】

- クレジットは全て明記してください。
- キャプション等の文字が画像に被らないよう、レイアウトにご配慮ください。
- ご掲載の際は恐れ入りますが校正の段階で美術館までご確認ください。

お問い合わせ

十和田市現代美術館 広報 : 大谷 (おおたに)

Tel. 0176-20-1127 Fax. 0176-20-1138 press@towadaartcenter.com www.towadaartcenter.com